

鏡 絵「村上理右衛門夫婦奮戦の図」 むらかみ り うえもん

津軽為信の津軽統一を語るとき、忘れてならないのは、天正13年（1585）4月4日の名杭日向守（なくいひゅうがのかみ）との宇杭野の戦での村上理右衛門夫婦の剛（たけ）き姿であろう。本図は、村上夫妻と八角棒を持って従う大力無双（たいりきむそう）の下人、大炊介（おおたきすけ）が多勢の日向守勢に立ち向かう場面を創作したもの。

見送り絵「村上理右衛門の妻」

袖 絵「雪中雉子の図」 せっちゅう き じ

袖絵背景の雪景色は、今の日本の危機的経済状況を示し、牡丹は富貴の象徴、番（つがい）の雉子に村上夫妻の勇姿を重ね創作したもの。

絵師：西谷昇仙